

HSBC ブラジル債券 オープン（毎月決算型）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年9月30日～2023年9月25日	
運用方針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みません）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第133期	（決算日	2019年10月25日）
第134期	（決算日	2019年11月25日）
第135期	（決算日	2019年12月25日）
第136期	（決算日	2020年1月27日）
第137期	（決算日	2020年2月25日）
第138期	（決算日	2020年3月25日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）」は、2020年3月25日に第138期の決算を行いましたので、第133期～第138期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 <<お問い合わせ先（クライアントサービス本部）>>
 電話番号：03-3548-5690
 （営業日の午前9時～午後5時）
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	税金		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
			込	騰落			
		円	円	%	%	%	百万円
第19作成期	第109期 (2017年10月25日)	5,485	35	△ 2.4	97.5	—	41,656
	第110期 (2017年11月27日)	5,348	35	△ 1.9	97.7	—	40,423
	第111期 (2017年12月25日)	5,248	35	△ 1.2	96.8	—	39,223
	第112期 (2018年 1月25日)	5,437	35	4.3	99.0	—	39,907
	第113期 (2018年 2月26日)	5,170	35	△ 4.3	99.3	—	36,928
	第114期 (2018年 3月26日)	4,998	35	△ 2.6	98.1	—	34,991
第20作成期	第115期 (2018年 4月25日)	4,931	35	△ 0.6	97.9	—	34,135
	第116期 (2018年 5月25日)	4,615	35	△ 5.7	97.2	—	31,334
	第117期 (2018年 6月25日)	4,315	35	△ 5.7	96.4	—	28,881
	第118期 (2018年 7月25日)	4,505	35	5.2	99.3	—	29,900
	第119期 (2018年 8月27日)	4,027	35	△ 9.8	98.6	—	26,852
	第120期 (2018年 9月25日)	4,115	30	2.9	97.6	—	27,287
第21作成期	第121期 (2018年10月25日)	4,620	30	13.0	97.2	—	30,244
	第122期 (2018年11月26日)	4,602	30	0.3	97.2	—	29,068
	第123期 (2018年12月25日)	4,432	30	△ 3.0	96.7	—	27,719
	第124期 (2019年 1月25日)	4,596	30	4.4	98.7	—	28,370
	第125期 (2019年 2月25日)	4,686	30	2.6	98.6	—	28,230
	第126期 (2019年 3月25日)	4,437	30	△ 4.7	98.2	—	26,066
第22作成期	第127期 (2019年 4月25日)	4,434	30	0.6	97.4	—	25,806
	第128期 (2019年 5月27日)	4,308	30	△ 2.2	96.9	—	24,904
	第129期 (2019年 6月25日)	4,557	30	6.5	96.6	—	26,035
	第130期 (2019年 7月25日)	4,700	30	3.8	99.2	—	26,211
	第131期 (2019年 8月26日)	4,155	30	△11.0	98.6	—	23,041
	第132期 (2019年 9月25日)	4,207	30	2.0	98.3	—	23,179
第23作成期	第133期 (2019年10月25日)	4,466	30	6.9	97.5	—	24,550
	第134期 (2019年11月25日)	4,249	30	△ 4.2	96.8	—	23,363
	第135期 (2019年12月25日)	4,360	30	3.3	96.0	—	23,947
	第136期 (2020年 1月27日)	4,269	30	△ 1.4	99.0	—	23,329
	第137期 (2020年 2月25日)	4,155	25	△ 2.1	99.1	—	22,558
	第138期 (2020年 3月25日)	3,352	25	△18.7	98.0	—	17,999

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
		円	騰 落 率 %		
第133期	(期 首) 2019年 9月25日	4,207	—	98.3	—
	9月末	4,264	1.4	97.9	—
第134期	(期 末) 2019年10月25日	4,496	6.9	97.5	—
	(期 首) 2019年10月25日	4,466	—	97.5	—
第134期	10月末	4,547	1.8	97.5	—
	(期 末) 2019年11月25日	4,279	△ 4.2	96.8	—
第135期	(期 首) 2019年11月25日	4,249	—	96.8	—
	11月末	4,255	0.1	96.4	—
第136期	(期 末) 2019年12月25日	4,390	3.3	96.0	—
	(期 首) 2019年12月25日	4,360	—	96.0	—
第136期	12月末	4,414	1.2	95.7	—
	(期 末) 2020年 1月27日	4,299	△ 1.4	99.0	—
第137期	(期 首) 2020年 1月27日	4,269	—	99.0	—
	1月末	4,211	△ 1.4	98.9	—
第137期	(期 末) 2020年 2月25日	4,180	△ 2.1	99.1	—
	(期 首) 2020年 2月25日	4,155	—	99.1	—
第138期	2月末	3,999	△ 3.8	99.0	—
	(期 末) 2020年 3月25日	3,377	△18.7	98.0	—

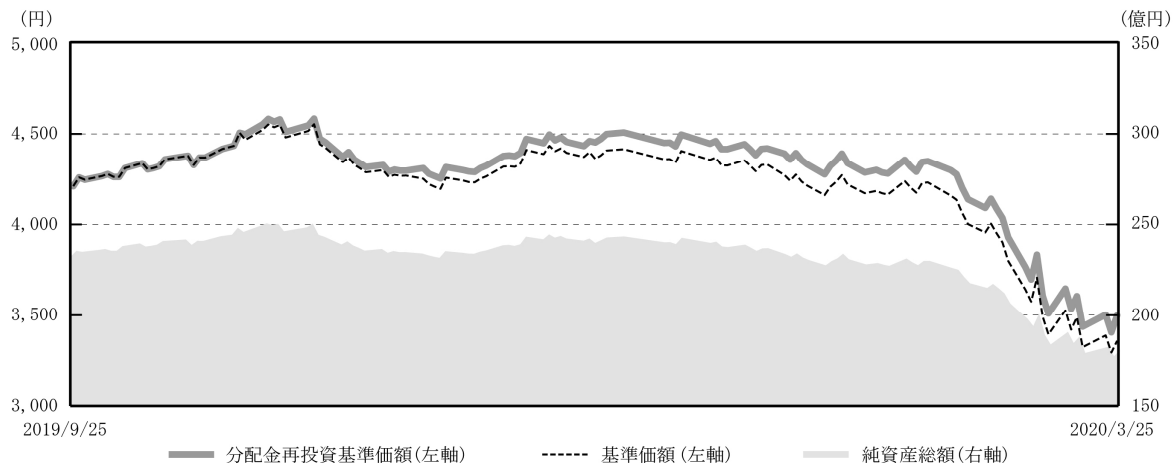
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎ 当作成期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第133期～第138期：2019年9月26日～2020年3月25日）



【基準価額・騰落率】

第133期首：4,207円

第138期末：3,352円（既払分配金（税込み）：170円）

騰落率：-17.0%（分配金再投資ベース）

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。

・分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年9月25日）の値を基準価額と同一になるように指数化しております。

2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）およびブラジルリアルが対円で大幅に下落したことが、マイナスに働きました。

3. 投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、作成期初から2020年3月初めまでは、緩やかな上昇（利回りは低下）基調となりました。世界的な金融緩和の流れ、国内ではインフレ率の低位安定を背景としたブラジル中央銀行による利下げがプラス要因となりました。3月半ばから作成期末にかけては大幅に下落（利回りは上昇）しました。新型コロナウイルスの感染拡大と世界経済への影響を巡る懸念から投資家の新興国に対するセンチメントが悪化する中で、ブラジルでも感染が拡大し、ブラジルレアルが急落、ブラジル債券市場にも悪影響が及びました。

【為替相場】

ブラジルレアルは対円で、作成期初から2019年末までは、年金制度改革法案の成立などボルソナロ政権の進める構造改革の前進、景気の回復期待などを背景に強含みました。2020年以降はブラジルの金利の低下を背景に下落に転じ、2月からは新型コロナウイルスの感染拡大を受けて投資家の新興国通貨に対するセンチメントが悪化する中で、ブラジルレアルも急落し、対米ドル、対円でともに史上最安値を更新しました。

4. ポートフォリオについて

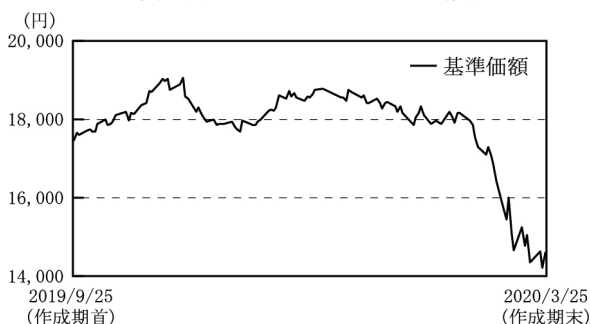
<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

<ブラジル債券マザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を21～34％程度、固定利付債は62～75％程度、物価連動国債を3％程度としました。

基準価額（マザーファンド）の推移



5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

6. 分配金について

基準価額の水準・市況動向等を勘案し、第133期から第136期における分配金は各30円、第137期および第138期は各25円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

7. 今後の運用方針

ブラジル債券市場およびブラジルリアルは、当面の間、新型コロナウイルスの世界的拡大と経済への影響を巡る懸念を背景に、世界の金融市場が動揺する中で、不安定な動きを続けることが見込まれます。

しかしながら、中長期的には、当社ではブラジル債券市場を有望視しています。ボルソナロ政権は積極的に構造改革を推進しています。昨年10月に法案が成立した年金制度改革は、ボルソナロ政権による財政再建、構造改革の流れの始まりに過ぎず、政府は今後、税制改革（複雑な税体系の統合と簡素化）、行政改革、国営企業の民営化を含む構造改革を積極的に推進する方針を示しています。構造改革の進展に伴い、財政の健全化が期待されます。

ブラジル中央銀行は、新型コロナウイルス感染拡大の経済への影響を緩和するために、3月18日に政策金利を0.5%引き下げ史上最低の3.75%としました。インフレ率が低位安定を続け、新型コロナウイルスの経済への影響が懸念される中、中央銀行は、当面は緩和的な政策スタンスを維持すると見られます。

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<ブラジル債券マザーファンド>

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルリアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルリアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルリアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルリアル建ての債券を購入いたします。その際のが為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第133期～第138期)		項目の概要
	2019/9/26～2020/3/25		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 36	% 0.848	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.438)	ファンドの運用等の対価 (運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(16)	(0.383)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内での ファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.087	(b) その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.078)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	40	0.935	
作成期中の平均基準価額は、4,281円です。			

(注) 作成期中の費用(消費税等にかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

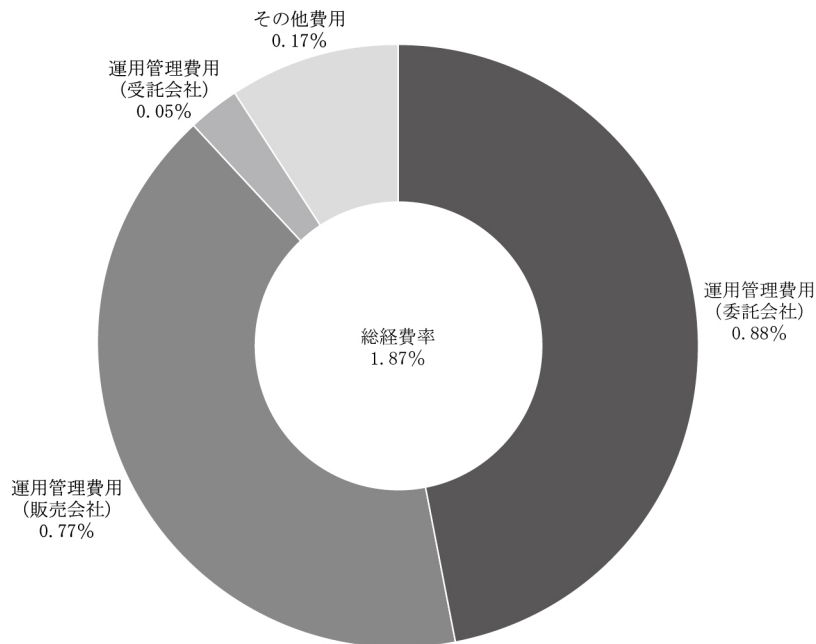
(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.87%です。



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2019年9月26日から2020年3月25日まで）

決 算 期	第 133 期 ～ 第 138 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ブラジル債券マザーファンド	千口 851,211	千円 1,540,491	千口 1,816,183	千円 3,256,145

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2019年9月26日から2020年3月25日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 133 期 ～ 第 138 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,815	百万円 —	% —	百万円 3,576	百万円 36	% 1.0

平均保有割合99.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2020年3月25日現在

種 類	第22作成期末			第 23 作 成 期 末		
	口 数		評 価 額	口 数		評 価 額
		千口			千口	
ブラジル債券マザーファンド		13,392,466		12,427,494		18,162,783

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

<補足情報>

当ファンドが組入対象とする「ブラジル債券マザーファンド」の決算日は当ファンドの決算日と異なります。当ファンドの決算日現在におけるマザーファンド全体（12,540,734千口）の組入資産の内容を以下に記載します。

外国（外貨建）公社債（2020年3月25日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	第 23 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 814,650	千ブラジルレアル 817,246	千円 17,807,811	% 97.2	% 97.2	% 17.5	% 66.5	% 13.2
合 計	814,650	817,246	17,807,811	97.2	97.2	17.5	66.5	13.2

(注) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	第 23 作 成 期 末						償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(ブラジル)		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
LTN 01/01/2022		—	100,000	91,752	1,999,278	2022/1/ 1	
LTN 07/01/2021		—	20,000	18,980	413,590	2021/7/ 1	
LTN 07/01/2022		—	81,000	71,115	1,549,602	2022/7/ 1	
LTN 07/01/2023		—	132,000	104,746	2,282,420	2023/7/ 1	
NTN-B 6% 08/15/2022	国 債 証 券	6.0	8,000	28,031	610,807	2022/8/15	
NTN-F 10% 01/01/2023		10.0	189,500	203,727	4,439,231	2023/1/ 1	
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	143,150	152,046	3,313,082	2025/1/ 1	
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	84,000	87,938	1,916,188	2027/1/ 1	
NTN-F 10% 01/01/2029		10.0	57,000	58,908	1,283,609	2029/1/ 1	
合 計	—	—	—	—	17,807,811	—	

(注) 邦貨換算金額は、作成期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◎投資信託財産の構成

2020年3月25日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル債券マザーファンド	18,162,783	99.8
コール・ローン等、その他	38,335	0.2
投資信託財産総額	18,201,118	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(18,241,632千円)の投資信託財産総額(18,367,356千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=111.16円、1ブラジルレアル=21.79円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月25日) (2019年11月25日) (2019年12月25日) (2020年1月27日) (2020年2月25日) (2020年3月25日)

項 目	第 133 期 末	第 134 期 末	第 135 期 末	第 136 期 末	第 137 期 末	第 138 期 末
(A) 資 産	24,804,110,952円	23,643,860,307円	24,223,210,407円	23,605,623,062円	22,822,703,632円	18,201,118,053円
ブラジル債券マザーファンド(評価額)	24,748,783,281	23,563,910,653	24,146,804,640	23,532,090,581	22,727,217,741	18,162,783,540
未 収 入 金	55,327,671	79,949,654	76,405,767	73,532,481	95,485,891	38,334,513
(B) 負 債	253,910,112	280,597,424	275,613,370	276,000,234	264,224,844	201,443,614
未 払 収 益 分 配 金	164,930,788	164,946,952	164,767,558	163,937,897	135,726,534	134,228,765
未 払 解 約 金	55,327,671	79,949,654	76,405,767	73,532,481	95,485,891	38,334,513
未 払 信 託 報 酬	33,260,347	34,900,136	33,249,353	36,906,254	31,024,899	26,835,878
その他未払費用	391,306	800,682	1,190,692	1,623,602	1,987,520	2,044,458
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	24,550,200,840	23,363,262,883	23,947,597,037	23,329,622,828	22,558,478,788	17,999,674,439
元 本	54,976,929,574	54,982,317,360	54,922,519,510	54,645,965,920	54,290,613,933	53,691,506,229
次 期 繰 越 損 益 金	△30,426,728,734	△31,619,054,477	△30,974,922,473	△31,316,343,092	△31,732,135,145	△35,691,831,790
(D) 受 益 権 総 口 数	54,976,929,574口	54,982,317,360口	54,922,519,510口	54,645,965,920口	54,290,613,933口	53,691,506,229口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,466円	4,249円	4,360円	4,269円	4,155円	3,352円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(注) 当ファンドの第133期首元本額は55,093,097,111円、第133~138期中追加設定元本額は3,597,112,720円、第133~138期中一部解約元本額は4,998,703,602円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

◎損益の状況

項 目	自2019年 9月26日 至2019年10月25日	自2019年10月26日 至2019年11月25日	自2019年11月26日 至2019年12月25日	自2019年12月26日 至2020年 1月27日	自2020年1月28日 至2020年2月25日	自2020年2月26日 至2020年3月25日
	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期	第 137 期	第 138 期
(A) 有価証券売買損益	1,614,376,096円	△ 982,462,286円	803,389,406円	△ 297,245,388円	△ 451,217,463円	△ 4,141,676,286円
売 買 益	1,622,827,110	9,028,789	818,235,726	1,672,262	4,988,704	47,206,057
売 買 損	△ 8,451,014	△ 991,491,075	△ 14,846,320	△ 298,917,650	△ 456,206,167	△ 4,188,882,343
(B) 信託報酬等	△ 33,651,653	△ 35,309,512	△ 33,639,363	△ 37,339,164	△ 31,388,817	△ 26,892,816
(C) 当期損益金(A+B)	1,580,724,443	△ 1,017,771,798	769,750,043	△ 334,584,552	△ 482,606,280	△ 4,168,569,102
(D) 前期繰越損益金	△ 8,126,770,337	△ 6,585,777,719	△ 7,635,603,941	△ 6,949,038,919	△ 7,333,346,322	△ 7,806,264,055
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△23,715,752,052 (619,058,617)	△23,850,558,008 (626,342,216)	△23,944,301,017 (632,515,439)	△23,868,781,724 (632,771,634)	△23,780,456,009 (630,883,044)	△23,582,769,868 (626,020,396)
(売買損益相当額)	(△24,334,810,669)	(△24,476,900,224)	(△24,576,816,456)	(△24,501,553,358)	(△24,411,339,053)	(△24,208,790,264)
(F) 計 (C+D+E)	△30,261,797,946	△31,454,107,525	△30,810,154,915	△31,152,405,195	△31,596,408,611	△35,557,603,025
(G) 収益分配金	△ 164,930,788	△ 164,946,952	△ 164,767,558	△ 163,937,897	△ 135,726,534	△ 134,228,765
次期繰越損益金(F+G)	△30,426,728,734	△31,619,054,477	△30,974,922,473	△31,316,343,092	△31,732,135,145	△35,691,831,790
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△23,715,752,052 (619,751,113)	△23,850,558,008 (628,280,755)	△23,944,301,017 (634,078,343)	△23,868,781,724 (633,136,702)	△23,780,456,009 (631,673,347)	△23,582,769,868 (626,611,151)
(売買損益相当額)	(△24,335,503,165)	(△24,478,838,763)	(△24,578,379,360)	(△24,501,918,426)	(△24,412,129,356)	(△24,209,381,019)
分配準備積立金	350,522,483	308,250,995	291,412,798	213,852,410	184,436,101	140,523,763
繰越損益金	△ 7,061,499,165	△ 8,076,747,464	△ 7,322,034,254	△ 7,661,413,778	△ 8,136,115,237	△12,249,585,685

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額をいいます。

(注) 第133期計算期間末における費用控除後の配当等収益(159,048,214円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(619,751,113円)および分配準備積立金(356,405,057円)より分配対象収益は1,135,204,384円(10,000口当たり206円)であり、うち164,930,788円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

(注) 第134期計算期間末における費用控除後の配当等収益(128,174,785円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(628,280,755円)および分配準備積立金(345,023,162円)より分配対象収益は1,101,478,702円(10,000口当たり200円)であり、うち164,946,952円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

(注) 第135期計算期間末における費用控除後の配当等収益(152,586,194円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(634,078,343円)および分配準備積立金(303,594,162円)より分配対象収益は1,090,258,699円(10,000口当たり198円)であり、うち164,767,558円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

(注) 第136期計算期間末における費用控除後の配当等収益(89,046,919円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(633,136,702円)および分配準備積立金(288,743,388円)より分配対象収益は1,010,927,009円(10,000口当たり184円)であり、うち163,937,897円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

(注) 第137期計算期間末における費用控除後の配当等収益(108,584,959円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(631,673,347円)および分配準備積立金(211,577,676円)より分配対象収益は951,835,982円(10,000口当たり175円)であり、うち135,726,534円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第138期計算期間末における費用控除後の配当等収益(92,710,285円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(626,611,151円)および分配準備積立金(182,042,243円)より分配対象収益は901,363,679円(10,000口当たり167円)であり、うち134,228,765円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、28,780,235円です。

◎分配金のお知らせ

	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
1万円当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	25円	25円

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 - 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
 - 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◎分配原資の内訳

（単位：1万円当たり・税引前）

	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
当期分配金	30円	30円	30円	30円	25円	25円
（対基準価額比率）	0.667%	0.701%	0.683%	0.698%	0.598%	0.740%
当期の収益	28円	23円	27円	16円	20円	17円
当期の収益以外	1円	6円	2円	13円	5円	7円
翌期繰越分配対象額	176円	170円	168円	154円	150円	142円

- ◇「（対基準価額比率）」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。
- ◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況
第11期（2018年9月19日～2019年9月18日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落率	債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	%	%	%	百万円
第7期（2015年9月18日）	10,935	△31.1	95.5	—	33,740
第8期（2016年9月20日）	13,831	26.5	97.5	—	34,475
第9期（2017年9月19日）	18,856	36.3	97.7	—	43,688
第10期（2018年9月18日）	15,044	△20.2	96.4	—	27,009
第11期（2019年9月18日）	17,951	19.3	97.4	—	24,320

（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額等の推移

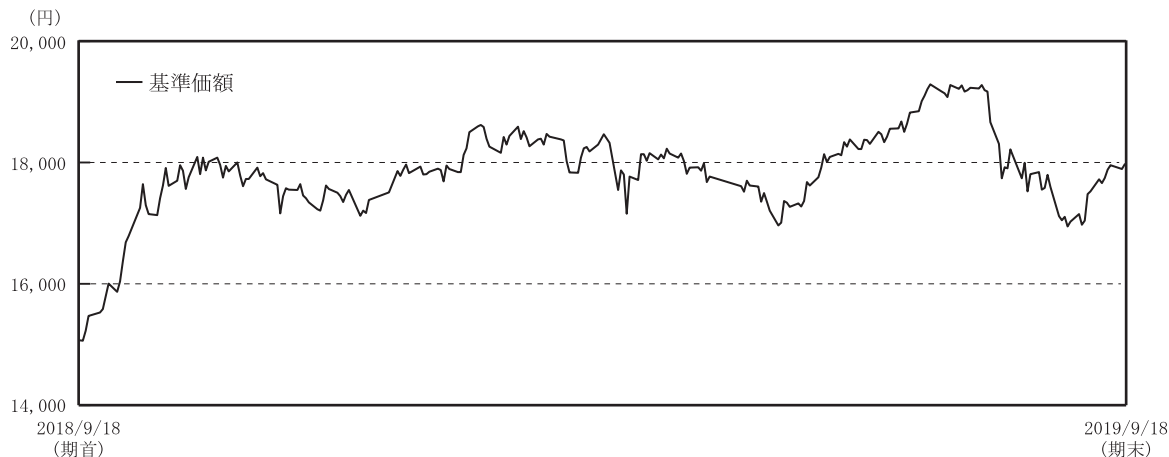
年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債先物比率
(期首)	円	%	%	%
2018年9月18日	15,044	—	96.4	—
9月末	15,978	6.2	97.4	—
10月末	18,058	20.0	97.0	—
11月末	17,531	16.5	97.0	—
12月末	17,359	15.4	96.2	—
2019年1月末	18,209	21.0	98.8	—
2月末	18,449	22.6	98.4	—
3月末	17,747	18.0	97.0	—
4月末	17,747	18.0	97.3	—
5月末	17,600	17.0	96.9	—
6月末	18,538	23.2	96.5	—
7月末	19,173	27.4	98.6	—
8月末	17,003	13.0	98.4	—
(期末)				
2019年9月18日	17,951	19.3	97.4	—

（注）騰落率は期首比です。

（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第11期：2018年9月19日～2019年9月18日）



2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）および利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

ブラジルレアルが対円で下落したことが、マイナスに働きました。

3. 投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、期を通じて上昇（利回りは低下）しました。2018年10月の大統領選挙で改革志向のボルソナロ氏が勝利し、2019年1月に発足したボルソナロ政権が構造改革を積極的に推進したことがプラスに働きました。政府は2月に年金改革を中心とする社会保障制度改革法案を議会に提出、同法案は8月に下院で可決されて上院に送られ、財政再建への期待感が高まりました。経済面では、インフレ率の落ち着きを背景としたブラジル中央銀行の金融緩和スタンス（2019年7月末には0.5%の利下げを決定）もプラス要因となりました。海外では、2019年以降は米国をはじめとする世界的な金融緩和の動きも追い風となりました。

【為替相場】

ブラジルレアルは対円で、期初から2018年10月にかけては、大統領選挙でボルソナロ候補が選出されるとの期待感、また実際に10月末の決選投票でボルソナロ氏が勝利したことが好感され、上昇しました。その後、期末にかけては、上下動を繰り返しながらも、ブラジルレアルは対円で下落基調となりました。アルゼンチンペソやトルコリラの急落などを背景とした新興国通貨全般に対する投資センチメントの悪化、国内では予想以上の景気の低迷などがマイナス要因となりました。また、2019年5月以降は円高の進行もブラジルレアルの対円相場下落につながりました。

4. ポートフォリオについて

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を18～29%程度、固定利付債は68～79%程度、物価連動国債を2.6～3.2%程度としました。

5. 今後の運用方針

ボルソナロ政権は積極的に構造改革を推進しています。年金改革を中心とする社会保障制度改革法案は早ければ9月から10月にも上院で可決され法案が成立すると見られています。また同政権は、税制改革、国営企業の民営化（2019年末までに国営電力公社エレクトロプラスを含む17社の民営化を計画）などの改革も推進しています。これらは、財政健全化につながる動きとして、今後の展開を注視していきます。

金融政策面では、低い経済成長率、インフレ率の落ち着き、財政健全化に向けた動きを背景に、ブラジル中央銀行は当面は景気重視の政策スタンスを維持することが見込まれます。

債券市場を取り巻く環境は引き続き良好との見方を当社は維持しています。

世界でも利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

◎1万口当たりの費用明細（2018年9月19日から2019年9月18日まで）

項目	金額	比率
(a) その他費用	27円	0.154%
（保管費用）	(27)	(0.154)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	27	0.154

- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は17,782円です。
- ・各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。

◎当期中の売買及び取引の状況（2018年9月19日から2019年9月18日まで）

公社債

			買付額	売付額
外国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 248,232	千ブラジルリアル 442,932

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2018年9月19日から2019年9月18日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 7,597	百万円 —	% —	百万円 15,488	百万円 1,145	% 7.4

(注) 単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

外国（外貨建）公社債（2019年9月18日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	当			期			末		
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
	外貨建金額	千円	%			5年以上	2年以上	2年未満	
ブラジル	千ブラジルレアル 832,850	千ブラジルレアル 892,726	千円 23,692,967	% 97.4	% 97.4	% 34.3	% 44.9	% 18.3	
合 計	832,850	892,726	23,692,967	97.4	97.4	34.3	44.9	18.3	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当			期			末	
	種 類	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	千円	千円			
(ブラジル)		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円			
LTN 01/01/2022		—	100,000	87,899	2,332,849	2022/1/1		
LTN 07/01/2021		—	33,000	29,999	796,189	2021/7/1		
LTN 07/01/2022		—	100,000	84,933	2,254,140	2022/7/1		
NTN-B 6% 08/15/2022		6.0	8,000	28,607	759,238	2022/8/15		
NTN-F 10% 01/01/2021	国債証券	10.0	130,200	137,481	3,648,750	2021/1/1		
NTN-F 10% 01/01/2023		10.0	189,500	209,734	5,566,358	2023/1/1		
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	143,150	163,116	4,329,102	2025/1/1		
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	84,000	97,744	2,594,133	2027/1/1		
NTN-F 10% 01/01/2029		10.0	45,000	53,210	1,412,203	2029/1/1		
合 計	—	—	—	—	23,692,967	—		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◎投資信託財産の構成

2019年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	23,692,967	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	687,582	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	24,380,549	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産 (24,342,988千円) の投資信託財産総額 (24,380,549千円) に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.21円、1ブラジルレアル=26.54円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2019年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	24,385,202,464円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	42,980,274
公 社 債(評価額)	23,692,967,684
未 収 入 金	284,770,801
未 収 利 息	345,651,212
前 払 費 用	18,832,493
(B) 負 債	64,880,072
未 払 金	4,652,600
未 払 解 約 金	60,227,372
未 払 利 息	100
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	24,320,322,392
元 本	13,548,008,602
次 期 繰 越 損 益 金	10,772,313,790
(D) 受 益 権 総 口 数	13,548,008,602口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,951円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	17,954,038,029円
期中追加設定元本額	1,197,955,479円
期中一部解約元本額	5,603,984,906円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額

HSBC ブラジル債券オープン(1年決算型)	131,203,892円
HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	13,416,804,710円

◎損益の状況

自2018年9月19日
至2019年9月18日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,276,530,361円
受 取 利 息	2,276,600,927
そ の 他 収 益 金	1,400
支 払 利 息	△ 71,966
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,945,691,913
売 買 益	3,342,143,043
売 買 損	△ 396,451,130
(C) 信 託 報 酬 等	△ 42,291,057
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	5,179,931,217
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	9,055,267,606
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	882,859,655
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 4,345,744,688
(H) 計 (D+E+F+G)	10,772,313,790
次 期 繰 越 損 益 金(H)	10,772,313,790

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ>

- ・2019年12月17日付：
「ブラジル債券マザーファンド」について委託会社が登記する公告ホームページのURL変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。
- ・2019年12月20日付：
「HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）」について委託会社が登記する公告ホームページのURL変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

<その他のお知らせ>

ありません。